

シン・西成東小

CHANGEを CHANGEに CHALLENGEしよう



～チェンジをチャンスにチャレンジしよう！現状維持では、後退するばかり！～

令和6年4月1日より、西成東小校長に着任いたしました 竹元 巨（たけもと なお）です。本校は昭和50年（1975年）に開校し、昨年開校50周年を迎えました。児童数は昭和55年に最多の793名（21学級）になった以降は減り続け、今年度は246名（13学級）でスタートすることになりました。規模は小さい学校ですが、子どもたちの元気、職員のやる気、そして保護者・地域の方々の気持ちの温かさに満ちあふれた素敵な学校です。

「かしこく」（学ぶことを楽しく感じ、想像力・判断力・表現力にすぐれた子）

「なかよく」（自他を尊重し、思いやりの心をもって共に生きようとする子）

「げんきよく」（心身ともに健康で、たくましく生きる子）

これが、本校がめざす子ども像です。

そして、次の4つが今年度の学校づくりのキーワードです。

「いのち」～子どもの命を守り、安心して学べる環境を確保する～

「よりそい」～多様な子どもを誰一人取り残さない～

「つとめ」～職務を自覚し、研鑽することで、教育の質を高めていく～

「ひろがり」～社会に開かれた教育課程を実現する～

これらの言葉を合言葉に、学校・保護者・地域が一体となって、未来ある「東っ子」を育てていきたいと思えます。

私のモットーは「できない理由を考えるのではなく、どうすればできるかを考える」です。昨年度本校では、日課表の変更、男女混合名簿の導入、スクールソーシャルワーカーの拠点校配置、相談室の設置、新たな学校応援ボランティアの創出（PTA活動）など、様々な取組をいたしました。さらに、今年度は、エンパワメントルーム（不登校の子どもたちの教育相談や社会的自立に向けた支援を行うための部屋）の設置やビオトープの整備、キャリア教育・福祉教育を中心とした総合的な学習の時間の充実といった取組を進めていきたいと考えております。

子どもの可能性は無限大です。どの子にも必ずよいところがあります。そのよさをみつけ、認め、伝え、励まし、そして伸ばすのが我々西成東小の教職員の役目です。

いつも子どもたちの笑顔が絶えない、いつも先生たちの笑顔がたえない、そんな学校をつくっていきます。西成東小へのご理解、ご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

令和7年4月1日

一宮市立西成東小学校
校長 竹元 巨



西成東小マスコットキャラクター
「フータくん」